

公開実用平成 3-482

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 平3-482

⑬ Int. Cl.⁵

H 04 N 5/38

識別記号

庁内整理番号

6957-5C

⑭ 公開 平成3年(1991)1月7日

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全 頁)

⑮ 考案の名称 テレビジョン信号送信装置

⑯ 実 願 平1-60753

⑰ 出 願 平1(1989)5月25日

⑱ 考 案 者 永 嶋 伸 一 長野県諏訪市大和3丁目3番5号 セイコーエプソン株式
会社内

⑲ 出 願 人 セイコーエプソン株式 東京都新宿区西新宿2丁目4番1号
会社

⑳ 代 理 人 弁理士 鈴木 喜三郎 外1名

明 細 書

1. 考案の名称

テレビジョン信号送信装置

2. 実用新案登録請求の範囲

(1) ビデオ信号及びオーディオ信号をテレビジョン信号に変換する変換装置、前記テレビジョン信号を送信するアンテナを有し、微弱電波で送信することを特徴とするテレビジョン信号送信装置。

(2) 送信周波数を2つ以上切替る切替手段を有する事を特徴とする請求項1記載のテレビジョン信号送信装置。

3. 考案の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本考案はビデオ信号オーディオ信号を通常のテレビ信号に変換し、微弱電波で送信するテレビジョン信号送信装置に関する。

〔従来の技術〕

従来 V T R、レーザーディスク等のビデオ、オーディオ信号（以下 A / V 信号と略す）を T V で再生する場合、有線のケーブルを用いて V T R 等の装置から T V へ直接接続しなければならなかった。

〔考案が解決しようとする課題〕

従来の C R T を使用した T V の様に大型でほとんど移動しない物では上記の様にケーブルを使用しても問題はないが、近年液晶 T V に代表される小型で持ち運びが容易な再生装置においては、V T R 等からケーブルを引きまわすという事は不便で、再生装置の携帯性が失なわれるという課題があった。従って本考案は以上の課題を解決するもので、A / V 信号をテレビ信号に変換し、微弱電波で送信するテレビジョン信号送信装置を提供し、V T R 等の A / V 信号を小型携帯 T V で直接ケーブルをひきまわす事無く、携帯性をそこなわず受信し再生する事を目的とする。

〔課題を解決するための手段〕

前記目的を達成するために本考案

(1) ビデオ信号及びオーディオ信号をテレビジョン信号に変換する変換装置、前記テレビジョン信号を送信するアンテナを有し、微弱電波で送信する事を特徴とする。

(2) 送信周波数を2つ以上切替る切替手段を有することを特徴とする。

〔実 施 例〕

以下本考案について実施例に基づき詳細に説明する。

第1図は本考案のテレビジョン信号送信装置のブロック図であり、入力されたビデオ信号、オーディオ信号を変換装置11によって通常のTV信号(たとえば日本国内で放送しているNTSC・M方式)のあるチャンネル(たとえばVHFの1チャンネル…映像周波数91.25MHz、音声周波数95.75MHz)の放送信号に変換する。

変換された放送信号はRF増幅器7により増幅されアンテナ9によって微弱電波で送信される。

以下変換装置 11 を更に詳細に説明する。

音声増幅器より出力された音声信号を FM 変調器 3 により、4.5 MHz で FM 変調する、キャリア発振器 8 は所望のチャンネル周波数（たとえば VHF の 1 チャンネルの場合 91.25 MHz）で発振し、ビデオ変調器 4、及び周波数変換器 5 に発振信号を供給し、それぞれビデオ信号、オーディオ信号が所望の周波数に変調される、最後に映像信号、音声信号が加算器 6 により加算され、通常のテレビジョン放送信号が作り出される。

又チャンネルを切替たい場合は、周波数切替スイッチ 10 によりキャリア発振器 8 の発振周波数を切替、別のチャンネルのテレビジョン信号を作り出す事ができる。

第 2 図は本考案のテレビジョン信号装置 13 を実際に使用した例であり、VTR 12 より出力された A/V 信号をテレビジョン信号送信装置 13 により、通常の放送信号のあるチャンネルに変換し、微弱電波で送信し、携帯 TV 14 で受信し、

A/V 信号を再生するものである。

〔考案の効果〕

以上の様に本考案によれば、直接ケーブルを引きまわさなくても、携帯TVにより特に場所にこだわらず、A/V信号を再生できビデオ信号利用の適用範囲が大幅に拡大できる。又A/V信号をもとにテレビ放送信号を作り送信するため、入力機器によらず、送信信号を一定以下の電界強度におさえる事が容易にでき、電波法で規制されている微弱電波で信号を簡単に出力できるテレビジョン送信器を提供できる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案のテレビジョン信号送信装置のブロック図。

第2図は本考案のテレビジョン信号送信装置を実際に使用した例を示す図。

1 . . . ビデオ増幅器

2 . . . 音声増幅器

公開実用平成 3—482

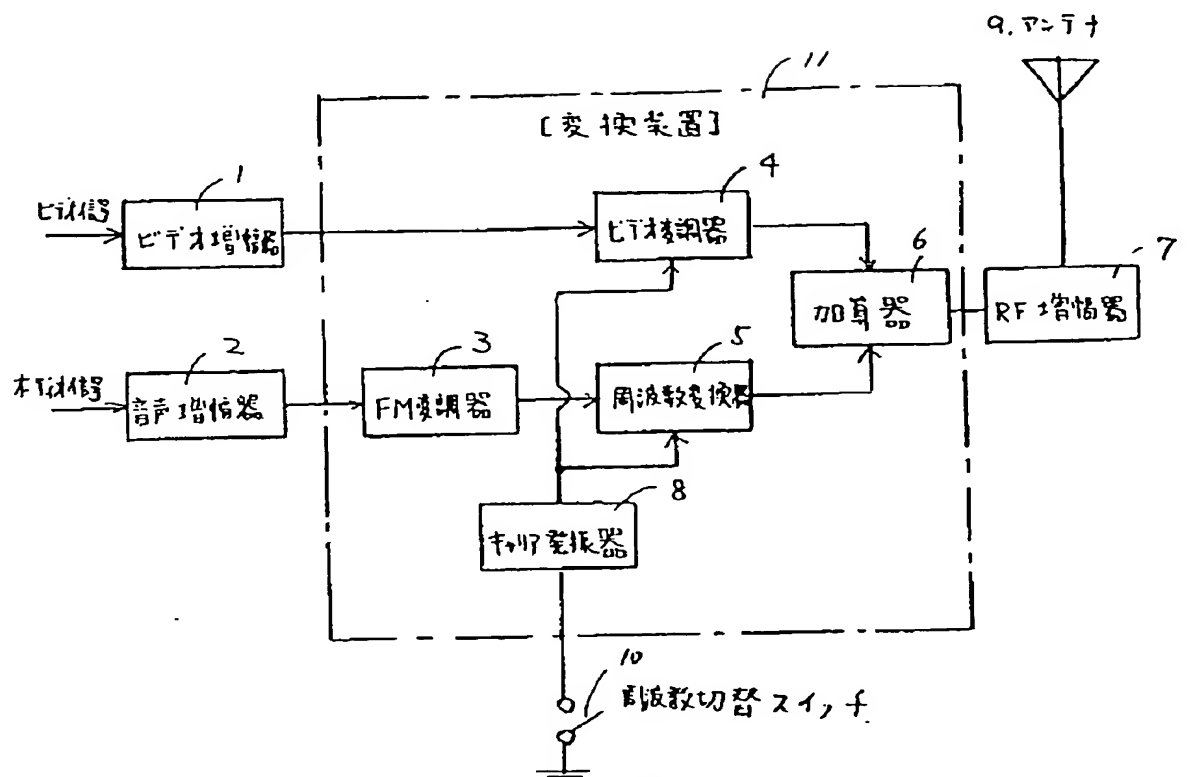
- 3 . . . F M 変調器
- 4 . . . ビデオ変調器
- 5 . . . 周波数変換器
- 6 . . . 加算器、
- 7 . . . R F 増幅器
- 8 . . . キャリア発振器
- 9 . . . アンテナ
- 1 0 . . . 周波数切替スイッチ
- 1 1 . . . 変換装置
- 1 2 . . . V T R
- 1 3 . . . 本考案のテレビジョン信号送信装置
- 1 4 . . . 携帯テレビジョン受信装置

以 上

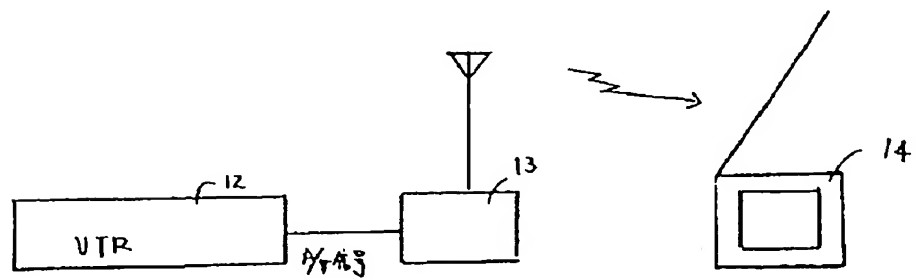
出願人 セイコーエプソン株式会社

代理人 弁理士 鈴木 喜三郎 (他 1 名)

1070



第 1 図



第 2 図

1071

実開3-482

出願人セイコーエプソン株式会社
代理人弁理士鈴木喜三郎(他1名)